研究機関：広島大学

研究課題名　MRI を用いた疼痛性障害（慢性疼痛）の病態解明及び客観的診断法確立のための多施設共同研究
研究責任者名　広島大学大学院医歯薬保健学研究院精神神経医科学　教授　山脇　成人
研究期間　H28 年　10 月(倫理委員会承認後）～ H32年　3月
対象者 H２１年１１月から H28 年６月までの間に、広島大学病院精神科で「疼痛性障害における脳機能的病態についての検討ならびに治療効果の検討について」（第Ｃ臨－131－2）の研究に参加された患者および健常ボランティアの方。
意義・目的 疼痛性障害は痛みによって気分も優れなかったり、生活で支障をきたしたりする状態が続く疾患です。その病態の本質的な解明が急務となっていますが、その脳メカニズムまだ解明されていません。今回、MRI などの脳画像データ（機能画像を含む）と関連する症候や行動データを統合的に解析することで疼痛性障害の脳内メカニズムを解明し、よりよい診断・治療法を開発に活用するため、他機関とデータを共有する計画をしました。
方法 本研究は，過去に研究用に撮像し連結可能な匿名化をされた MRI データおよび研究参加当時の質問紙・行動課題データを、他機関での過去の研究で得られたデータと合わせて二次解析します（個人を特定可能な情報は解析に用いません）。
共同研究機関 大阪大学脳神経外科、国際電気通信基礎技術研究所との間で匿名化済みのデータを相互に共有し解析します。
個人情報の保護について データは全て連結可能な匿名化を行い、個人の特定ができないようにします。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究にデータを提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口 〒734-8551　広島市南区霞 1-2-3 Ｔｅｌ：082-257-5479 広島大学病院　精神科　准教授　岡本　泰昌 助教　吉野　敦雄